

「あなたの推しは 何ですか？」

式典会場で神栖の魅力のイチオシを聞きました。



荒井 将翔さん



ラクトーン ピチャーモンさん



宮野 悠紀さん



石井 花歩さん



二瓶 美桜さん



長町 晴輝さん



松永 圭叶さん



I.R.さん



一原 ゆうさん



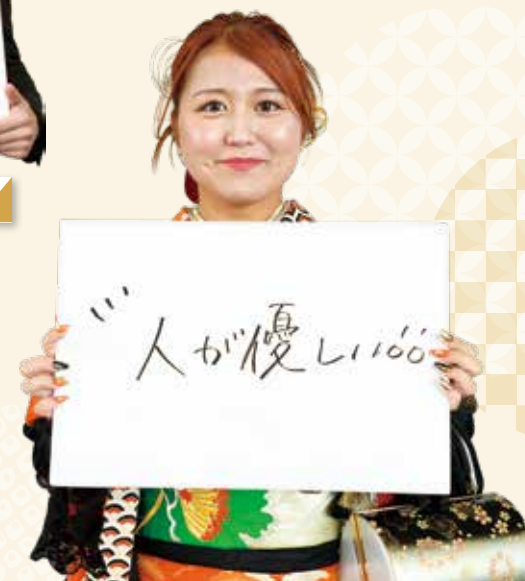
野口 有紗さん



伊藤 龍雅さん



栗飯原 晴翔さん



石神 桃花さん



吉川 麻奈美さん



小川 太陽さん



中島 稀良さん



入念な打ち合わせ



前日のリハーサル



舞台袖から見るビデオメッセージ



実行委員の皆さん



式典中の舞台裏



息の合った司会の2人

2026年神栖市はたちのつどい実行委員

今年の実行委員は16人。役割分担はすべて立候補で決まり、4カ月かけて準備をしました。意気込みを尋ねると、「中学の時にコロナ禍で厳しい状況乗り越えた仲間だからこそ、分かり合えることがあります。みんなで協力して素晴らしい式にしたいです」(実行委員長・伊藤綾希さん)、「一生に一度のことなので、皆さんの記憶に残る式にしたいです」(副実行委員長・坂本雄俄さん)と話してくれました。誓いのことばを担当する2人は「大きい式典を運営した経験は、今後の人生の糧になると思います」(今

泉咲良さん)、「人前に立つのは得意ではありませんが、挑戦することにしました」(緑川由華さん)。司会を担当する2人は中学時代の生徒会長と副会長で、「はたちのつどいという大舞台で、2人で司会をしたいと思います」(磯海斗さん)、「いろいろな困難乗り越えてきた最強のバディです」(池永修斗さん)と息がぴったり。

式の前日は口々に「緊張している」と不安そうな面持ちでしたが、当日は舞台で堂々と振る舞い、それぞれの役割を立派に果たしました。